3　企画委員会組織図（取組内容と評価指標等）

学　校　長

教　頭

教　務　会

校長・教頭・教務・県費事務
拡大教務会は、プラス
学推主任・研究主任・生徒指導主任
教育相談担当、特活・キャリア教育担当
○教育目標に迫る３つの柱の推進リーダー
３つの柱の効果的、効率的な推進を目指す

運 営 委 員 会

校長、教頭、教務　各学年主任
提案者等

企画委員会
全職員で構成

＊教頭は３部会を巡回し、監督する。

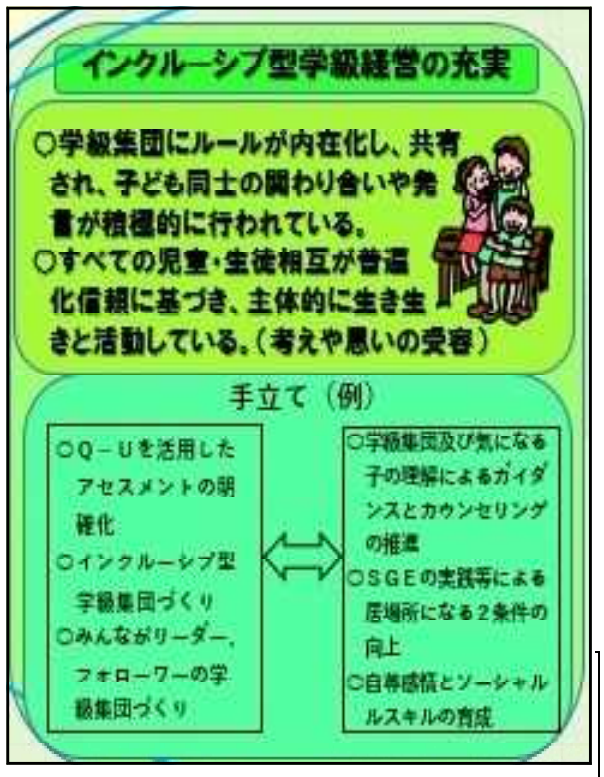
元気に登校 笑顔で下校**部会**

校 務 分 掌（学年、専科等）

【メンバー　９人】
○**生徒指導主任（４年）**
○**教育相談担当（主（特支）**・副（１年））
○児童会担当（６年）
○特別支援教育コーディネーター（特支）
○安全主任（３年）＊兼生徒指導副
○保健主事（養護教諭）
○人権・平和・道徳推進（２年）
○図書館教育（５年）

＜元気な児童を支えるスタッフ＞主３＋３
○特別支援補助員（２人）、○登校支援員
○ＳＳＷ，ＳＣ、初任研指導教諭＊他校拠点

学校教育目標に迫るため、以下の内容を推進します。



【めざす児童像】
○教職員評価　１～５ 、１１

【評価指標】＊教職員評価 16 ～ 22　24,39 ～ 41
21学級の子どもたち全員との会話を行っている。
19ＳＧＥ（エンカウンター）を適宜実施し、学級内の信頼関係づくりに生かしている。
20ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）を活用し、より良い人との関わり方を指導している。
22「聴くこと」（１２のダメな聞き方を意識している）と能動的な聴き方と「Ｉ(アイ)メッセージ」による児童との対話、指導を行っている。
17学級のルール等規律を児童に理解させ、共有させている。
18支持的風土づくりの４つのポイント（安心・所属・承認・自立）を意識した学級づくりを推進している。（児童　同士が良い所も悪い所も認め合い、生き生きと活動できるように）
24生徒指導の３つのポイント（自己決定の場、自己存在感、共感的人間関係）を意識した授業実践を行っている。
16Ｑ－Ｕの結果や考察をより良い学級づくり（全体指導と個別指導等）に役立てている。
39 教育相談を計画的・組織的に行い、いじめ・不登校に適切に対応している。
40 特別支援教育方針を明示し、全職員の理解と協力のもと指導している。
41 校内就学支援委員会を設置し、適切な支援を行っている。

豊かな学び方を身に付け 主体的・協働的に学ばせる**部会**

校 務 分 掌（学年、専科等）

【メンバー　９人（＋１）】
○**学推主任**（教務・理科専科）
○**研究主任**（授業改善アドバイザー）
○学年主任（１年～６年、特支）
○（ＦＴ）他校拠点（本校勤務時参加）

＜豊かな学びを支えるスタッフ＞主３人＋４人
○学力向上推進支援員
○スクール・サポート・スタッフ【ＳＳＳ】
○図書管理事務
○ＪＴＥ：３人　非常勤講師　＊他校兼務

学校教育目標に迫るため以下の内容を推進します。

【めざす児童像】
○教職員評価　６～１０

【評価指標】＊教職員評価 26 ～ 35
29子どもが生きる主体的で協働的な授業を実践している。座安スタンダード（西留式）
33家庭学習力アンケートを活用し、児童の自主・自律的学びを推進している。
31 授業が児童にとってより「有意味学習」「オーセンティックな学習」となるよう工夫している。
27授業のねらいと手立てを週案に明記して、わかる授業づくりを行っている。
26「座安っ子学びのめあて」（学習規律）を児童が主体的に身につけるよう指導している。
28ペア学習やホワイトボードを活用するなど、対話的な授業を取り入れている。
30学級掲示物の工夫及びＵＤ（「焦点化」「視覚化」「共有化」）の授業づくりを意識している。
32児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしている。
34授業改善（子どもが生きる主体的・協働的な学び～児童と教師が、ともに展開する座安スタンダードの授業を通して）を中心とした学力向上の取組の実践研究が充実している。
35 校内での研修や各種研修会及び自主研修等を通して、教員としての資質（教師力・人間力）の向上に前向きに取り組んでいる。

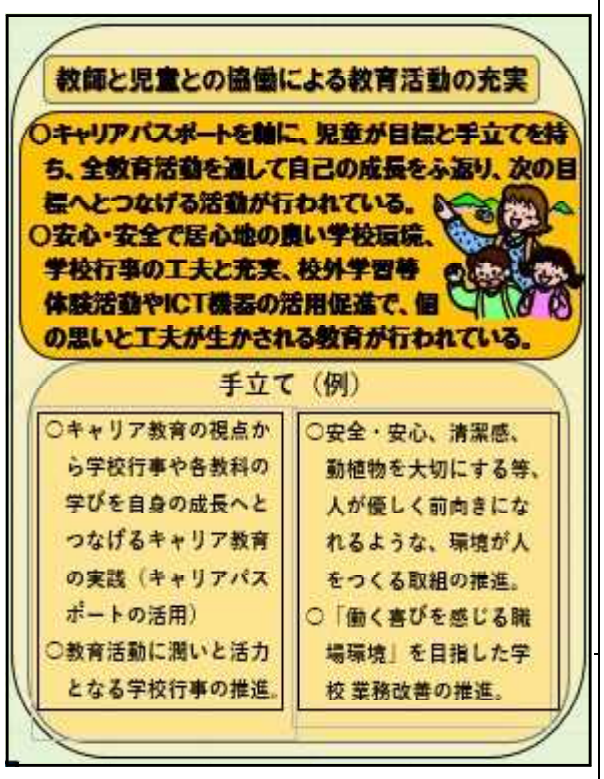
学校教育・環境に**潤いと夢**や目標を与える**部会**

校 務 分 掌（学年、専科等）

【メンバー１０人】
○**給食・食育主任（音楽専科）**
○**特活主任・キャリア教育**（４年）
○**地域連携副・リソマネ（県費事務）**
○環境整備主任（特支）
○文化的主任（特支）
○体育主任（６年）、副（３年）
○視聴覚・情報主任（５年）
○保幼こ小連携（１年）
○福祉・ボランティア（２年）兼文化副

＜学校教育に潤いと夢を与えるスタッフ＞
○市事務・庶務　　○ＰＴＡ事務

学校教育目標に迫るため以下の内容を推進します。



【めざす児童像】
○教職員評価　１２～１５

【評価指標】＊教職員評価23 25 36～38 46
36キャリアパスポートを効果的に活用され、児童の夢や目標の育成につながっている。
25学級会、学級集会、委員会活動等で、子どもたちの創意工夫が生かされるなど、自主的、自治的な活動が行われている。

23教育活動を子ども達との共通認識のもと実践している。（状況の法則の活用）
37安全・安心、清潔感、動植物を大切にする等、人を育てる環境づくりができている。
38各種の行事は、学校教育活動に潤いと充実感を与えている。
46教育活動に地域の人材等を積極的に活用している。

＜業務改善＞　＊教職員評価47～50
47座安小は働きやすい職場である。（元気に出勤！笑顔で退勤！ができている）
48仕事にやりがいを感じている。
49学習指導や教材研究、授業研究等、教職員本来の業務に専念できている。
50子どもと向き合えている。

職　員　会　議